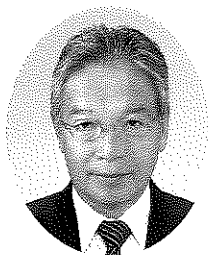


退公連 伊達支部だより

第53号

発行日 令和5年12月21日
 発行者 支部長 高橋 徹
 題字 佐藤 吉 則



「合理的配慮」

支部長 高橋 徹

今年度は、コロナ感染対策を行いながら、春の総会、西山城での秋の研修会ができたこと、役員の方々、会員の皆様

様に深く感謝いたします。

私は、障がい者の就労支援施設に勤めておりますので、障がい者差別解消法に定められた合理的配慮を行う義務があります。合理的配慮とは、障がい者がより働きやすい生活しやすい環境を構成することです。障がい者を雇っている民間企業も来春より合理的配慮を行うことが義務になります。現在私たち高齢者も増えておりますが障がい者も増えておりま

す。いずれ、日本国民の半数近くが高齢者や障がい者になる社会が到来と言われております。私たち高齢者も足腰が弱れば身体障がい者に、認知症になれば精神障がい者になってしまうのかな・・・？そうになったら合理的配慮を受ければいいやと考えることもできます。

先日、桑折町で鎌田実先生の講演を聞きました。フレイル（虚弱）の話で、①口腔の虚弱を防ぐためにカラオケへ、パタカラ発声を、②筋肉の虚弱を防ぐためにスクワットなどの筋トレを、③社会性の虚弱を防ぐために（退公連のような）研修会等に参加してみんなと交流することを勧めていました。合理的配慮を受けずとも元気で長生きできるようにこの3つを実践してみましょう。

令和5年度 支部総会開催

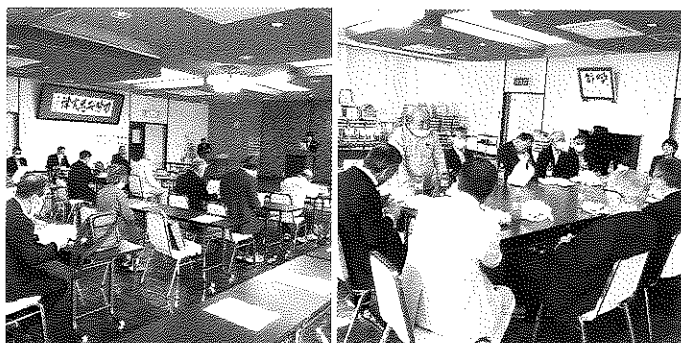
5月14日(日) 保原中央交流館大会議室

3年ぶりに顔を合わせた参加会員は、なつかしさの雰囲気を感じつつ会議に入りました。

支部長挨拶の後、表彰（役員功労者・米寿）、来賓祝辞（県退公連事務局長 大橋茂信 様、伊達市教育長 菅野善昌 様）があり、議事に入りました。会務・会計報告、事業計画・予算案が全部承認され、令和5年度の各事業が開始されました。

終了後 懇親を深める茶会があり、参加会員の近況報告や健康・地域・趣味等の雑談に和やかなひと

時をすごすことができました。



祝 米寿を迎えて 手芸は生きがい

枝並タカ子様(保原町)

「光陰矢の如し」。退職後数え切れない程の年月が経ち、今年米寿となり我ながら驚いています。

在職中は多勢の皆様にお世話になりましたので、何かお役に立ちたいと思い退公連や町内会の婦人会・老人会のお手伝いをさせて頂きました。今まで何も分からず暮らしておりましたが、地域のことも分かり交流を深めることができました。

50代の頃、刺し子 パッチワーク 縮緬細工の手芸に出会い、楽しく夢中で学びました。それぞれの

技法に独特の良さや深みを体験し感動しています。

手芸は私の活力の源、生きがいです。これからも手の動く限り続けていきたいです。



秋の合同研修会 歴史探訪 桑折西山城・懇親会

11月9日(木)、桑折町にて福祉部・女性部合同研修会を開催しました。

秋晴れの晴天のもと10名が参加し充実した研修ができました。講師は桑折町教育委員会主任学芸員の井沼千秋様です。豊富な知識と優しい人柄で親しみやすく、国指定史跡西山城について研修生一同理解を深めることができました。

天文元年(1532年)頃、伊達植宗は政治を司る所として、交通要衝の桑折西山城を築きました。天文17年(1548年)嫡男の伊達晴宗が米沢に移るまで、伊達氏の本拠であった山城です。

西山城からの展望は、紅葉満開の霊山、阿武隈川



が流れ稲穂が実る伊達平野、福島県の信夫山まで見渡せ城主の気分になりました。心が和み洗われ、腰を据えしばし眺めました。

研修後、桑折町「上町チアーズ」に移動し待っていた昼食です。美味しい食事やクラフトビールに舌鼓をうちながら、研修内容はもちろん、健康・地域・組織づくり等についての談義で盛り上がりました。

今回充実した研修が行われ、参加者一同大満足でした。次回はまだ少し参加者が増えることを望みます。今回の企画運営にあられた福祉部副部長の渡辺秀樹様のご尽力に感謝申し上げます。



自己肯定感を高めるには

伊達地区小中学校長協議会長
遠藤和宏 (醸芳小学校校長)

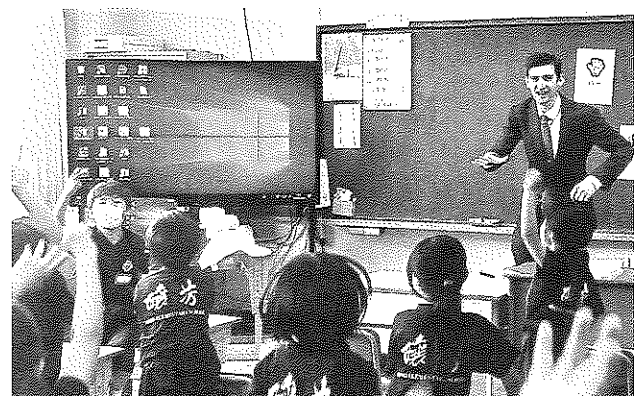
「自己肯定感」とは、「ありのままの自分」を肯定する感覚のことです。そして、自己肯定感が高い子ほど、自信をもって人生を切り開くことができると言われています。平成30年内閣府の調査によると「自分自身に満足していますか?」という問いに対して、「そう思う」と答えた日本の若者は45%しかいません。アメリカやヨーロッパの若者は7割を超えていますから、日本の若者はダントツに自己肯定感が低いというわけです。

本校では、ALTの先生が外国語の授業に入ってくださいますが、子どもたちが質問に答えたり、何かやってもらったりすると、ALTの先生はGood!Great!Nice!Perfect!Excellent!等、飛び切りの笑顔で誉めてくださいます。褒められた子どもたちは笑顔になり、楽しく活動ができています。

「できて当たり前」の考え方があると、せっかくできて誉めずにスルーしてしまうことがあります。

小さなことでも、できたら「すごいね」と誉めてあげれば、それが地震や意欲につながり、自己肯定感が高まっていくのだと思います。

本校の学校経営の基本方針に「誉めて伸ばす教育の推進」があります。学校と家庭で子どもを誉めて伸ばすようにしていけば、きっと子どもたちは、大きな力を発揮してくれることでしょう。



地域で元気に貢献・活動する会員のみなさん

短歌との出会い

藤田美智子（伊達）

短歌との出会いは、50年前にさかのぼります。

学生時代に木俣修先生と出会ったことがきっかけでした。その後、仕事や子育てに追われながらも、続けてきたことで歌が残り、それらの歌を詠み返すと、さまざまな場面が鮮やかに目に浮かんできます。

現在は、所属している短歌結社の仲間たちと毎日歌会を行っています。新しく短歌を始めた仲間から「短歌を始めたことで、これまで気づかなかったことを心に留めるようになった」という声を聴くと、うれしくなります。



写真で繋がる

矢館 実也（月館）

私の受賞が新聞報道される中で、写真を通じた繋がりができました。まず月館郵便局に写真を飾って頂き、毎月入れ替えをしています。また、布川の「まちなかサロン」にも飾って頂いています。

月館町支所ふれあいホールで開店している「ぽっこカフェ」では、写真の楽しみ方についてお話をしました。

更に、伊達ピーチフォトクラブ講師としてお招き頂き、撮影会や定例会で一緒に活動しています。

私の写真はまだまだ未熟ですが、感動を共有できる幸せが何よりで、生きる活力となっています。



桑折の歴史を訪ねて

猪俣 好己（桑折）

昭和26年半田醸芳小学校に赴任、先輩から半田銀山、伊達氏が築いた中世の山城西山城跡、江戸時代末期に活躍した国学者万葉歌人安藤野雁、現在最古の自転車三元車創案者鈴木三元、半田山崩落沼決壊の大被害を被ったが復興した村等の紹介があった。

小さな村に、全国的に意義を持つ歴史や文化が刻まれ、誇りを持って伝承されていることに驚いた。その後、桑折町が自分の定住の地となり町の歴史を折々に触れ調べ、退職後のライフワークとして小冊子を何冊かにまとめてきた。



「伊達市相撲大会」

藤田 喬士（保原）

10月1日、ほばら大泉相撲場で第19回伊達市民相撲大会・県及び県北少年相撲大会が4年ぶりに開催され、力強い取り組みが繰り広げられた。

前日には、午後から「伊達市相撲教室」が開催され相撲の基本を学び、礼に始まり礼に終わる相撲の基本を学び合った。大会は、年齢ごとの部門で個人戦と団体戦が行われ選手たちの白熱した取り組みに会場が盛り上がり大きな声援が送られた。

伊達市や県北青少年の健全育成のためと考え20数年この伊達市相撲振興協会に関わっている。



事務局だより

米寿表彰 これからもお元気で

伊達 土田 隆 様
 梁川 齋藤 義男 様
 保原 枝並タカ子 様
 保原 佐藤 伸 様
 桑折 桃谷 アサ 様



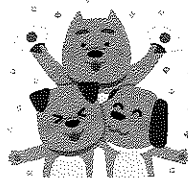
役員表彰 ご功労に感謝します。

保原 菅野金四郎 様
 保原 荒 哲也 様



新入会員 よろしくお願ひします。

伊達 関川 佳信 様
 伊達 高野 治久 様
 保原 原田 浩章 様
 霊山 大波 恒昭 様



物故会員 お悔み申し上げます。

梁川 佐藤 清子 様 (令和4年 7月)
 保原 鈴木 貞子 様 (令和4年 5月)
 同 若林 力 様 (令和4年 10月)
 同 茂木 榮一 様 (令和5年 1月)
 同 秋葉 芳吉 様 (令和5年 2月)
 同 佐藤 文子 様 (令和5年 3月)
 同 遠藤 峰雄 様 (令和5年 6月)
 同 清野 イク 様 (令和5年 9月)
 同 浅野 榮 様 (令和5年 12月)
 桑折 梶原 好子 様 (令和5年 1月)
 同 桃谷 アサ 様 (令和5年 7月)
 国見 徳江きみ枝 様 (令和5年 3月)
 同 佐藤 榮壽 様 (令和5年 11月)
 霊山 安田 利作 様 (令和5年 11月)

新聞で見たよー 活躍する会員

□ 富成産新ジェラード登場
 湯田 健一 様 (保原) 令和5年 10月



地域特産品マスカットのさっぱりした甘みの魅力を発信し、富成自治振興会が発表し販売した。道の駅伊達の郷等で販売されている。

□ 県川柳奨励賞
 江口はるみ 様 (霊山) 令和5年 11月

□ 保原囲碁大会 第1位
 安倍 幸夫 様 (保原) 令和5年 10月

□ 桑折町案内どころ三十二跡 発刊
 猪俣 好己 様 (桑折) 令和5年 7月

□ 教育貢献で高齢者叙勲受賞
 齋藤 浩 様 (保原) 令和4年 12月

小学校教員として長年学校教育に貢献された。瑞鳳双光章受賞に対し、一番は妻に感謝したいと喜びを語る。教え子との交流は今でも続く。



今後の日程

2月中旬 女性部会
 3月2日 事務局会役員会
 3月上旬 県北連絡協議会
 3月中旬 会計監査
 3月23日 組織部会・役員会

◆◆ 編集後記 ◆◆

今年もあとわずかとなりました。加齢とともに年々月日が経つのが早く感じられます。お忙しい中、原稿を執筆された方々に感謝いたします。

何の罪もない子供たちや市民を犠牲にする戦争。世界平和を願わずにはいられません。

幸多き新年となることをお祈りいたします。